

C社 リスクコミュニケーション事例

(1) 参加者概要

- ・事業所隣接地域の自治会役員 14人
- ・行政(県2人、町6人、町議会3名、町外郭団体2名)
- ・学校関係者 5名
- ・事業所隣接企業(3社4名)
- ・マスコミ関係者(2社2名)
- ・C社親会社 1名
- ・C社従業員 21人
(事務室2人、設備環境担当3人、環境安全部3人、その他13名)

(2) 当日のプログラムとその詳細

プログラム

- 11:00~11:05 開会の辞
- 11:05~11:10 オリエンテーション,(避難通路、参加者紹介、弊社スタッフ紹介等)
- 11:10~11:20 C社紹介DVD視聴
- 11:20~12:00 事業所リスク説明 C事業所概況及び環境への取組みについて
- 12:00~12:40 昼食(グループ会社紹介、DVD視聴)
- 12:40~13:20 工場内見学(8名/組 2組/班 3班構成にて分散見学)
見学ルート: 製造工程、ユーティティヤード、研究開発工程
- 13:20~13:30 質疑応答
- 13:30~13:35 町長挨拶
- 13:35~ 解散

詳細

2-1 開会の辞

C社事務室長から開会の挨拶をしました。

2-2 挨拶

- ・C社 事業所長からご挨拶

2-3 工場紹介DVD視聴

C社で作成した会社紹介DVDを視聴しました。

2-4 工場概要説明

資料を用い、事業所長から事業所の概要を説明しました。

2-5 環境への取組

資料を用い、事業所長から環境への取組を説明しました。

2-6 昼食

参加者全員で弁弊

昼食会場では、Cグループ紹介DVDを上映しました。

2-7 工場見学

三班に分散して、構内を見学しました。

(製造工場 (見学ルート) 排水口 (水質監視システム) 研究開発用測定室)

2-8 質疑応答

参加者の方々から、感想等をお聞きしました。

2-9 閉会の辞

事務室長から閉会の辞を述べ、地区懇談会を終了しました。

(3) 配付資料等の概要

- ・工場概要パンフレット
- ・グループ会社の2008年度環境・社会報告書
- ・説明用パワーポイント資料抜粋版

(4) 住民等からの意見

- ・当日住民等から出た意見はありませんでした。
- ・当日アンケートを記入して、いただいたご意見からも非常に理解できたと言ったようなご意見が多数ありました。
- ・今回高等学校の先生方を初めて招待しましたが、「C社を初めて知り、何を作っているのか理解できた。」「生徒の進路指導に役立つ」といった意見がありました。

(5) 記録

- ・弊社のHP掲載、事業所新聞掲載、グループ会社への開催報告
- ・中日新聞、石油化学新聞の記事になりました。

(6) リスコミを実施後の反省など

- ・今回で3回目となり、近隣住民の理解がより深まりました。
- ・参加者がどうしても男性中心になってしまうので、もう少し女性の参加者を増やすようにしていく必要があると感じました。
- ・どのような工程でフィルムが作られるのか、また弊社の物作りの姿勢にも関心が高く、見学によって理解されたようで、製造工程の見学は非常に好評でした。製造工程がクリーンルームと言う制約はありますが、できるだけ希望者が全員見学できるように今後検討が必要と感じました。

(抜粋版)
地域リスクコミュニケーション

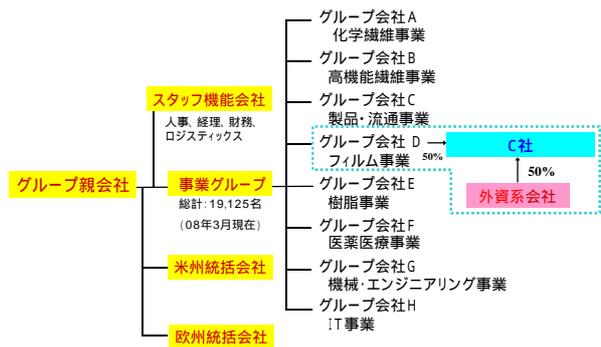
C社
岐阜事業所

目次

1. 会社の概要
 - 1) 持ち株会社
 - 2) C社
 - 3) 同岐阜事業所
2. CグループのCSRに対する取組み
3. 岐阜事業所のESH方針と活動
4. 環境創出協定の締結と実績レビュー
5. 岐阜事業所の環境側面
 - ・地域社会からの問い合わせ等の状況
6. 岐阜事業所の防災側面
7. 岐阜事業所の社会貢献状況

会社の概要

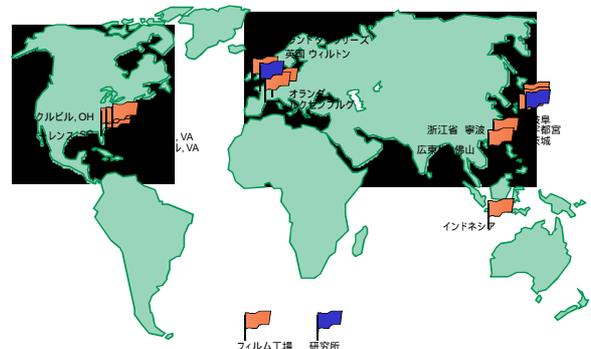
グループ親会社とC社の構成



C社の概要

- 創 立 2000年1月1日
- 資本金 100億1千万円
- 株 主
 - 持ち株会社D (グループ親会社の100%子会社): 50.1%
 - 外資系会社: 49.9%
- 社 長 代表取締役
- 従業員 約750名
- 事業内容 ポリエステルフィルムの製造、加工、販売
- 事業所 東京本社、大阪支店、**岐阜事業所・開発センター**、宇都宮事業所、茨城事業所

C社のグローバル展開



C社国内事業所配置図



岐阜事業所の概要(生産工場)

- 操業開始: 1971年8月
- 生産品目:
 - ✓PETフィルム: 「商品名」
 - ✓PENフィルム: 「商品名」
- 敷地: 108,700m²
- 生産能力: 公称2,300トン/月
- 生産設備:
 - ✓製膜設備: 7系列
 - ✓スリット設備: 16台

C社 R & Dセンター概況

- 操業 2003年4月1日 神奈川県相模原市から移転
- 敷地: 36,725 m²
- パイロット製膜機: 1 系列
目的・用途: R&D と新規開発品のpre-marketing
- 分析機器
主な分析機器数: 40
表面形状、モルフォロジー、光学的分析、熱的分析、表面分析 etc.

岐阜事業所内のグループ親会社関連のグループ会社概要

✦ グループ会社F 在宅医療技術サービスセンター(03年10月分社化)

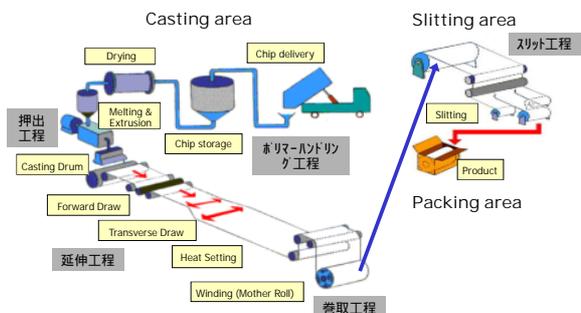
在宅医療事業 在宅医療技術サービスセンター
 操業開始 1989年7月
 事業内容 酸素濃縮器の整備・配送・技術サービス

✦ その他グループ会社

- ・ (研究開発)
 - ・ (フィルム加工)
 - ・ (総務、人事、購買)
 - ・ (ホイラー・発電運転)
 - ・ (フィルム物流)
 - ・ (製造補助)
- 協力企業9社



フィルム製造工程フロー



ISO認証取得事業所

(ISO-9001, 14001)

【 岐阜事業所 マネジメントシステム運営方針 】

1. 事業活動を通じ、品質、環境、労働安全衛生活動の維持向上に努めます。
2. 活動に関わる次の項目を重点課題として取り組みます。
 - (1) 要求される品質の製品をタイムリーに提供し、顧客の満足を得るように努めます。
 - (2) 環境汚染の予防に努めると共に、可能な限りの省資源、省エネルギー及び廃棄物発生量の削減とリサイクル化を行い、環境影響負荷の低減を図ります。
 - (3) 労働安全衛生の危険源を特定し、リスク評価結果に基づき、労働安全衛生リスクの低減を図ります。
3. 目的・目標を設定し、定期的及び必要に応じて、評価、見直しを行い、管理活動の継続的改善に努めます。
4. 関連の法律、規制、協定その他の要求事項を遵守します。
5. 従業員・構成員への教育・啓蒙を行い、職場での管理活動を通じ、品質意識の向上、地域社会への貢献、従業員とのコミュニケーションの向上に努めます。

グループ親会社の CSRに対する取組み

CSR = 社会的責任

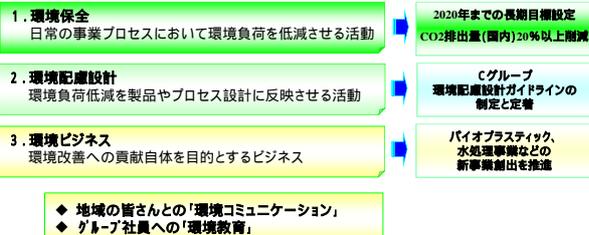
企業理念

(省略)

事業戦略、コーポレート・ガバナンス、CSRは三位一体 持続的な価値の増大

省略

グループ親会社の「環境経営」の3本柱



グループ親会社 自主エコ「認定」製品一覧表(抜粋) (20製品(群))

省略

C社のCSRへの取り組み

ミッション:企業理念

「先端技術産業のパートナーとして、革新的・創造的な技術と商品の開発を通じ、お客様の多様なニーズと期待に応えます。」

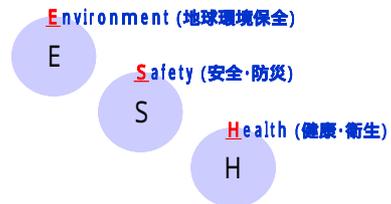
コアバリュー:行動規範

- 私たちはすべての企業活動において、
 - 環境・安全・健康に配慮します。ESH
 - 最高の品質を提供します。Quality
 - 企業倫理を遵守します。Ethics
 - 社員を個人として尊重します。People

ブランドステートメント

「Innovation for Growth」(成長を目指した革新)

岐阜事業所の ESH方針と活動



2008年度事業所方針

1. スローガン

ひとり一人が事業変化に果敢に臨み、
チャレンジスピリットで大きな変革を成し遂げよう

2. 目標

- 4つのゼロの必達を目標に、安全で安心な職場を確立しよう
 - ・環境事故 = 0
 - ・爆発火災 = 0
 - ・休業災害 = 0
 - ・人身交通事故 = 0
- リスクマネジメントレベルの向上を進め、地域社会の信頼を高めよう

事業所での ESH活動状況

- 環境 : EMSのアクションプランの展開(3ヶ月毎に進捗チェック)
- 安全 : ESH推進委員会議の開催(1回/月)
OHSASのアクションプランの展開(3ヶ月毎に進捗チェック)
事業所長の安全巡視(1回/月) → 
- 衛生 : 定期健康診断/特殊検診/生活習慣病検診
メタボリックシンドロームの予防支援('08/8月)
産業医の過重労働面談、臨床心理士相談
- AEDの設置(5台)と普通救命講習会(9月)
- 監査 : CグループESH監査(6月、12月)
グローバルESH大会(1回/年)
ISO規格(品質/環境/安全衛生)の外部審査
ISO規格の内部監査実施(2回/年)
ISO規格のマネジメントレビュー(1回/年)

環境創出協定の更新と実績レビュー

環境創出協定の更新

西濃地域では、最初に協定を締結・・・2005年3月
<3年毎更新> **2008年3月更新**
岐阜県と安八町と事業所の3者が、豊かで快適な環境を創出するために、事業者の立場から、自主的に改善活動を進めていくことに関して、交わした約束



締結時写真

協定書

環境創出協定の2007年度実績評価(抜粋)

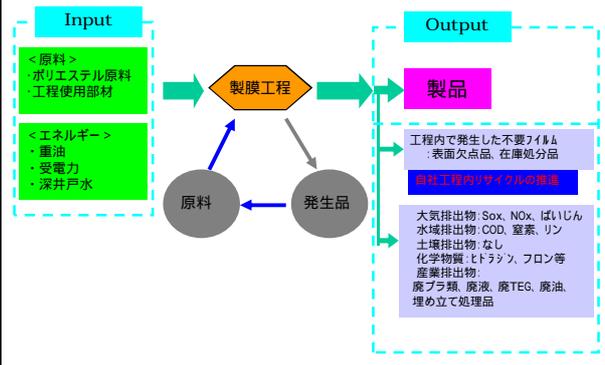
環境創出活動報告書
環境創出協定第20条に基づく達成状況の評価(平成20年5月作成)

注:法令で規制基準が適用されない項目に関しては「-」を記入する	法令に基づく規制基準	維持管理目標値	将来目標値(目標年:平成20年)	平成18,19年度実績	維持管理目標に対する自己評価
大気汚染	硫酸酸化物(Sox:K値) 2-21 48-937 #49-3.4 B	11.5 11.5	1.0以下 7.0以下	1.0以下 7.0以下	Max: 0.3 Max: 3.4
	窒素酸化物(Nox:ppm) 2-21 48-937 #49-2 B #49-3.4 B	7.0 2.50 1.80	6.0 2.30 1.70	6.0 2.00 1.70	Max: 4.4 Max: 2.00 Max: 1.70
	ばいじん(G/Nm3) 2-21 48-937 #49-	0.05 0.30	0.01 0.20	0.01 0.15	Max: 0.01 Max: 0.1

注:法令で規制基準が適用されない項目に関しては「-」を記入する	法令に基づく規制基準	維持管理目標値	将来目標値(平成20年)	平成18,19年度実績	維持管理目標に対する自己評価
水質汚濁	水素イオン濃度(PH)	5.8-8.6	6.0-8.2	6.0-8.2	7.0-7.7 (昨年7.1-7.9)
	生物化学的酸素要求量(BODmg/l)	30	22	20	Ave: 9.3 (昨年7.3)
	浮遊物質(SSmg/l)	60	13.0	11.0	Ave: 未満 (昨年未満)
	T-P-# 含有量(mg/l)	0.5	0.2	0.1	Ave: 0.1未満 (昨年0.1未満)
	T-P-#49-937抽出物質含有量(鉱油類)(mg/l)	5.0	3.0	2.0	Ave: 未満 (昨年未満)
	化学的酸素要求量の負荷量(CODkg/日)	227	50	40	Ave: 13.9 (昨年13.8)
	全窒素含有量の負荷量(T-Nkg/日)	257	20	15	Ave: 5.0 (昨年5.2)
	全リン含有量の負荷量(T-Pkg/日)	33	3.0	2.0	Ave: 0.9 (昨年1.1)

岐阜事業所の環境側面

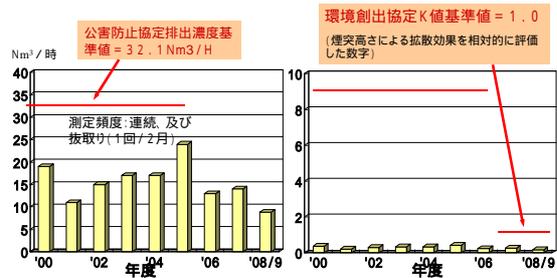
環境負荷



大気排出物

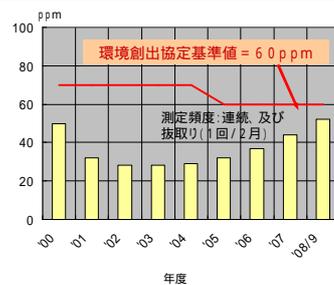
重油の使用量: 120KL/日(18L灯油缶6,700缶分)・・・自家発電フル運転時
大気汚染物削減のため、省エネルギーを推進: 2KL/日(18L灯油缶110缶分)

SOx(硫酸酸化物)排出実績・・・ぜん息など、人の気道部に影響

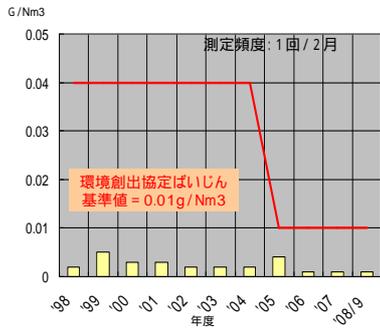


NOx排出実績・・・光化学スモッグの原因物

自家発電(ガスタービン)設備は、大気汚染予防法の法的基準値を下回る排出状態で、運転を行なっている



ばいじん排出量…人の気管部に影響



水域排出物

	基準値 ('08/3月更新)	自主基準	'07年平均値 ('08年)	点検監視の状況
環境排出物の基準値				
水素イオン濃度 (PH)	5.8 - 8.6	6.0 - 8.2	7.0 - 7.7 (7.1 - 7.9)	工程排水槽の点検と中和処理外部分析先に委託 (1回/月)
浮遊物質量	11mg/L	10mg/L	1未測 (1未測)	外部分析先に委託 (1回/月)
フェノール含有量	0.5mg/L	0.2mg/L	0.1未測mg/L (0.1未測)	外部分析先に委託 (1回/月)
生物化学物質酸素要求量 (BOD値)	30mg/L	20mg/L	9.3mg/L (7.3)	外部分析先に委託 (1回/月)
J/Mマキリン抽出物質量含有 (油分)	日平均5mg/L	3mg/L	1未測mg/L (1未測)	外部分析先に委託 (1回/月)
伊勢湾總量規制値				
化学的物質酸素要求量 (COD値)	227kg/日	40kg/日	13.9kg/日 (13.8)	自動分析計設置と外部分析先にも委託 (1回/月)
窒素含有量 (N)	257kg/日	15kg/日	5kg/日 (5.2)	自動分析計設置外部分析先に委託 (1回/月)
磷含有量 (P)	33kg/日	3kg/日	0.9kg/日 (1.1)	自動分析計設置外部分析先に委託 (1回/月)

工程排水処理設備 (1 / 2)

工程排水槽の容量は350 m³、異常時排水が河川へ流出しないようにするため、予防として、直ぐに排水をクローズできるようにした。('07年12月)を実施した。



排水分析室には、連続自動COD測定計と連続自動全窒素・燐測定器を設置し、常時監視を行なっています。



工程排水処理設備 (2 / 2)

工程排水異常時に備え、工程排水槽の貯水量を向上させるため排水槽を高上げた。また、これに伴い、新たに排水汚濁検出器を設置 ('07/12月)した。

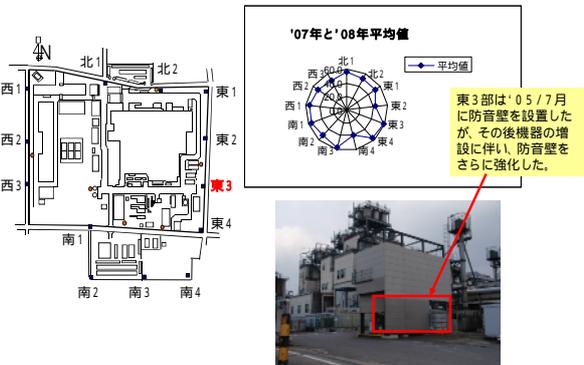


小型焼却炉は、01年10月に廃止。'07年7月に撤去完了。

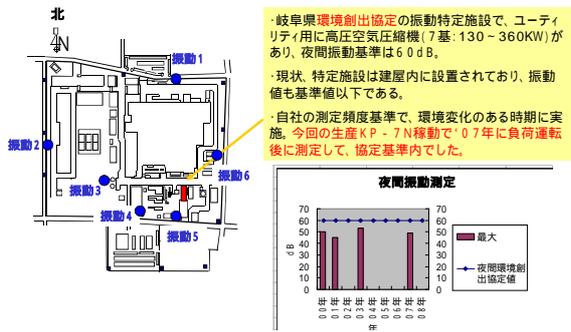
撤去時に土壌汚染(ダイオキシン類)されていないか事前アセスメント(分析)した結果、汚染されていないことを確認した。



騒音の管理状況



振動の管理状況



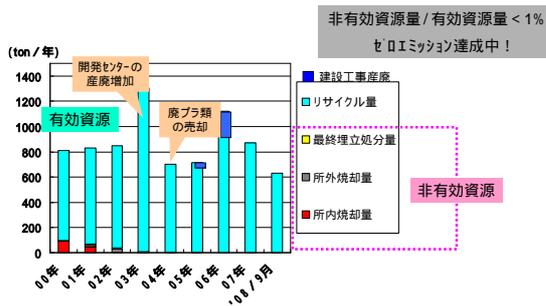
化学物質

・特別化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(P.R.T.R法)に沿って、該当物質を管理

化学物質名	用途	法的届出基準量 (Kg/年)	'04年使用量	'05年使用量	'06年使用量	'07年使用量
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン	機械部品洗浄	1000	1060	160	42	0
ヒドラジン	ばいり-清濁剤		791	900	467	860
ノニフェノール	製品		741	0.2	0	0
ばり特シエレンアキアキエチル	フィルム表面の活性剤		-	399	479	755
石綿	断熱材	500	478	218	440	270
フロン-11	冷凍機の冷媒体	1000	200	200	200	200

産業廃棄物

・廃棄物の分別活動とリサイクルを進めて、'03年より「ゼロエミッション」を達成。
 ・'07年の廃棄物全体量は874T/年。非有効資源は1.3T/年。



処理先の監査状況(処理場許可書等 毎年現地確認)



岐阜事業所の防災側面

総合防災訓練の事例(1/4)

大垣市消防組合主催の第30回事業所別、初期消火競技大会('08/11月)に2チームが参加。屋内消火栓の部では、優勝、準優勝に輝いた



総合防災訓練の事例(2/4)

消火器による実射訓練('08/10 参加者33名)実施
指導:大垣消防組合中消防署東分署



総合防災訓練の事例(3/4)

総合防災(クリーン)訓練を,'08/5月に実施
(想定:地震発生、その後火災発生した。また事業所長不在とした)



本部を設置内の様子



総合防災訓練の事例(4/4)



事業所内の自衛消防隊の技能レベル向上の為'07年10月「初期消火競技大会」を実施。
この大会には、大垣消防組合中消防署東分署長にも出席頂き、指導を願いました。



徒手訓練



屋外消火栓放水訓練

岐阜事業所の 社会貢献状況

企業の役割とは、事業を通して社会に貢献するだけでなく、社会の一員であることを社員一人ひとりが自覚し、地域の人々との関わりの中から、豊かな信頼関係を築いて行くことと考えています。

そうした考え方のもとに、地域社会の一員として、社員自らが積極的・継続的に行動しています。

「歳末助け合い募金」の集約金を安八町内の心身障害児通園施設「あすなるの園」へ(08/1月)



災害発生時に被災者支援施設の1つとして、安八町とエアロシエルトの提供協定締結。(08/4月)

新聞写真

ASEAN6カ国(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ)の各国大使・外交官が来場('08/6/6)。

6月10日にルクセンブルグの駐日大使・外交官が来場('08/6/10)



事業所の境界クレーン清掃は、毎年
春・秋2回実施。('08/10/20)



第86回全国高校サッカー選手権大会
岐阜県大会で優勝を飾った岐阜工業高
等学校に、スポンサー企業として当社か
ら公式サッカーボールを贈呈いたしまし
た。('07/12/5)



Cグループ夏祭りの開催:安八町内の住民をはじめとして、
多数の参加を頂き、ありがとうございました。
安八町野球場で毎年開催。(08/8月:約7千人)



写真



写真

ご清聴ありがとうございました。
岐阜事業所は、地域の皆様の信頼
を勝ち得ながら、皆様と共に、成長
し続けます。